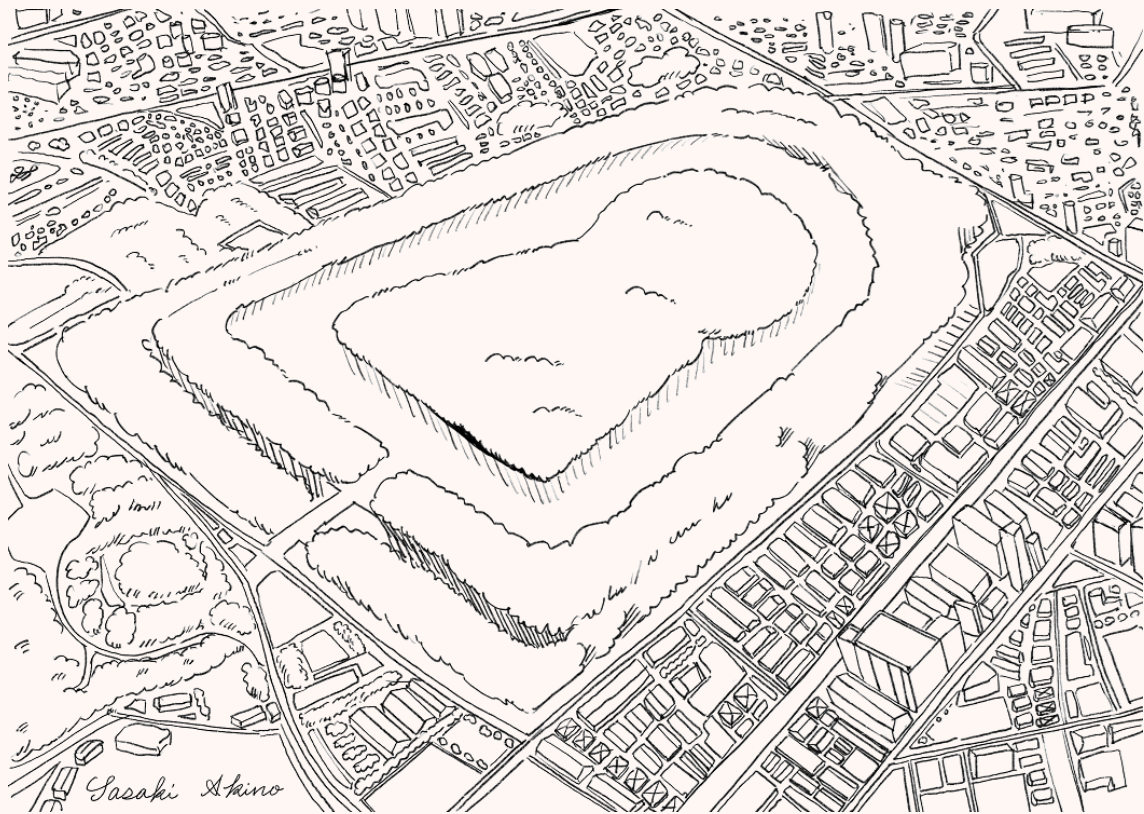


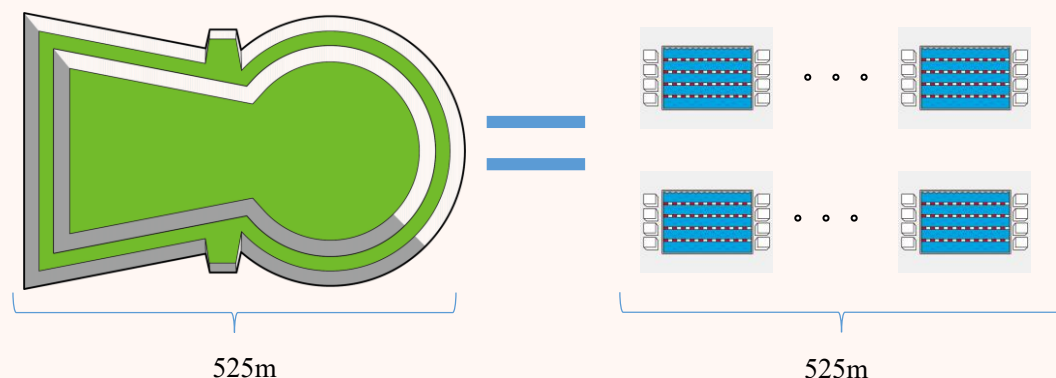
これ何だ？ ーその2ー



(Drawn by Akino SASAKI)

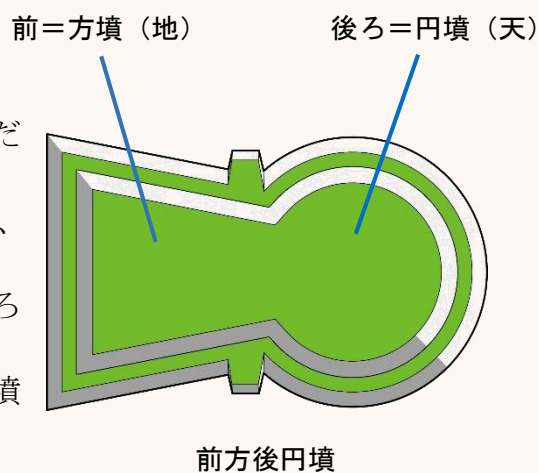
「これ何だ？ ーその1ー」で、古墳の説明をしました。古墳は、何でしたか？ だれのお墓でしたか？ いつつくられ始めましたか？ どこでつくられましたか？ 忘れてしまった人は、もう一度読んでみてください。

今から、古墳の大きさについて、考えてみましょう。日本で一番大きな古墳はどれぐらいの大きさだと思いますか？ 525mもあります*。525mとは、どれぐらいの長さでしょうか？ 学校の25mプール21個と同じ長さです。とても長いです。



日本で一番大きな古墳は、大仙古墳です。大阪府堺市にあります。5世紀（401～500年）の中ごろに作られました。

古墳には前と後ろがあります。絵を見てください。四角い部分がありますね。それが前で、「方墳」と言います。反対側の丸い部分が後ろで、「円墳」と言います。前が方墳で後ろが円墳なので、この形を「前方後円墳」と言います。



大仙古墳は、前方後円墳の形をしています。四角の形は地、つまり、土地を表してると言われています。そして、円の形は天、つまり、空を表しているそうです。そのように考えると、覚えやすいでしょう。



大仙古墳のような大きな前方後円墳は、奈良県や大阪府にたくさんあります。昔、奈良県のことを大和、大阪府のことをかわち河内とよんでいました。そのあたりの場所に大きな前方後円墳

がたくさんある理由は、この地域の豪族が、強い力を持っていたためです。

※大仙古墳の長さについて、他の意見もあります。

(564 字)

(2021.11 Written by Wakiko FUTAKUCHI)

<参考資料>

- ・「国づくりへの歩み」『小学社会 6上』教育出版
- ・「中部電力」ウェブサイト「日本のピラミッド!? 古墳って何？」

<https://www.chuden.co.jp/kids/denkipaper/2018/745/issue01.html>

(2022.3.7 ウェブサイト確認)



この作品はクリエイティブ・コモンズ 表示 - 非営利 - 継承 4.0 国際 ライセンスの下に提供されています。この作品を利用する場合は、「たどくのひろば」を出典として示してください。

例) 出典: 「たどくのひろば」 (<https://tadoku.info>)

This work is licensed under a Creative Commons Attribution-NonCommercial-ShareAlike 4.0 International License. When you use this work, please indicate the source as in the example above.